

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	歴史的町並み保全再生（第2期）計画												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	京都市												
計画の目標	『京都市歴史的風致維持向上計画及び京都市景観計画に基づき、地域特有の歴史的な町並み景観の保全・再生を図る。』 『京都市京町家の保全及び継承に関する条例に基づき、本市固有の趣のある町並み及び個性豊かで洗練された生活文化の象徴である京町家の保全・再生を図る。』												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	490	A	474	B	0	C	16	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	3.26	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	街なみ環境整備事業（歴史的町並み再生地区）（歴史的景観保全修景地区、界わい景観整備地区、景観重要建造物、歴史的風致形成建造物、歴史的意匠建造物）によって得られた市民実感の向上 京都市総合企画局において毎年実施される「京都市市民生活実感調査」におけるまちなみ景観に関するアンケート結果による満足度 京都市総合企画局において毎年実施される「京都市市民生活実感調査」におけるまちなみ景観に関するアンケート結果による満足度	62%	%	65%
2	・街なみ環境整備事業（京町家保全継承推進地区）によって得られた市民実感の向上 ・京都市総合企画局において毎年実施される「京都市市民生活実感調査」における京町家の継承に関するアンケート結果による満足度 ・京都市総合企画局において毎年実施される「京都市市民生活実感調査」における京町家の継承に関するアンケート結果による満足度	57%	%	59%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・（定住自立圏共生ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A全て・（連携中枢都市圏ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A4-3 京町家の継承に関するアンケート結果については、当初現況値を平成30年度当初のものとする。												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	京都市	間接	民間	-	-	街なみ環境整備事業(歴史的町並み再生地区)	建造物の修理・修景	京都市						402		-
	A16-002	住宅	一般	京都市	間接	民間	-	-	街なみ環境整備事業(京町家保全継承推進地区)	京町家の修理・修景	京都市						72	1.68	-
												小計						474	
											合計						474		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	京都市	間接	民間	-	-	歴史まちづくり推進事業 （歴史的町並み再生地区 ）	歴史的建造物の調査及び指定 拡大	京都市						16	-		
		地域の歴史的建造物や歴史・文化の状況を把握することで、積極的な指定の働きかけを行う事ができ、歴史的建造物の保全・継承が図られ、地域の良好な景観形成や歴史的風致の維持向上につながる。																		
											小計						16			
											合計						16			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価実施主体：都市計画局都市景観部景観政策課 都市計画局まち再生・創造推進室</li> <li>評価に活用した評価制度：京都市市民生活実態調査</li> </ul>	事業完了年度の翌年度速やかに
	公表の方法
	本市ホームページ（京都市情報館）にて
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>歴史的町並み再生地区：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「京都市市民生活実感調査」における「京都の個性的な町並み景観が守られている。」の質問に対する満足度は、事業開始後、ほぼ毎年向上していたが、最終年度（H31年度調査）で下がった。なお、計画期間である5年間平均で比較すると、満足度は向上している。 H27年度62.4%（事業開始） H28年度63.1% H29年度62.8% H30年度64.3% H31年度57.4% R2年度-（事業完了） H23年度～H27年度の平均値59.9%、H28年度～R2年度の平均値61.9%</li> </ul> <p>京町家保全継承推進地区：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「京都市市民生活実感調査」における「京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。」の質問に対する満足度は、事業開始後は向上したが、最終年度（H31年度調査）で下がった。 H29年度57.0%（事業開始） H30年度57.8% H31年度51.1% R2年度-（事業完了） H25年度～H29年度の平均値58.8%、H30年度～R2年度の平均値54.4% R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民生活実感調査を一時休止したため、H31年度までの調査結果により評価。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>京町家をはじめとする地域特有の歴史的建造物による町並み景観の保全・再生が京都の魅力向上につながり、下記のような結果の一因となっていると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度の京都観光総合調査において、日本人観光客の満足度が向上し、外国人観光客とも満足度は90%を超える高水準を維持</li> <li>米国の旅行雑誌「コンデ・ナスト・トラベラー」の読者投票による「世界で最も魅力的な都市」で、京都が世界第1位に選ばれた（令和2年度）。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き『歴史的町並み保存再生（第3期）計画』を策定し、地域特有の歴史的町並み景観の保全・再生を図る。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	まちなみ景観に関する満足度		
	最終目標値	65%	指標は毎年向上していたが、最終実績値（平成31年度調査）において下がってしまった。要因としては、観光客の急増等により、日常の文化、芸術、自然、景観等を支えてきた地域の暮らし（市民生活）に影響がでたことで、くらしと深く結びついている町並み景観が崩れていくことに市民が危機感を抱いたものと考えられる。
	最終実績値	57%	
2	京町家の継承に関する満足度		
	最終目標値	59%	京町家の保全・継承を図るために、京町家所有者の方だけでなく、市民の皆様とも、京町家の価値や危機感の共有を行うための普及啓発を行い、様々な取組を実施しているが、個人の財産である京町家の解体をくい止めることができない事例もあり、市民アンケートでは満足度低下につながったと考えられる。
	最終実績値	51%	